

令和3年度 弁護士による小学生へのいじめ予防授業について

長野県弁護士会

1 授業実施のねらい

- (1) いじめが人権侵害であることを、子どもたちに身近な例を挙げながら説明し、理解を深める。
- (2) 人の個性や考え方の違いがいじめを正当化する理由にはならないこと、いじめが絶対に許されないものであることを理解し、個の尊重の態度を養う。
- (3) いじめをなくすために何ができるのか、話し合いを通じて子どもたちが考えを深め、その実践が可能となるような環境を醸成する。

2 実施校数（12月末までの予定も含む） ※新型コロナウイルス感染症対策を行い実施

○県内小学校 22校（50クラス） 実施学年 小学校5，6年生

3 主な実施内容（授業は2コマで構成）

<第1時>

- 1 導入として弁護士が人権を守るための仕事をしていることを紹介し、弁護士への興味を喚起するとともに、弁護士が重大な人権侵害であるいじめの問題について授業をすることの理解を得る。
- 2 身近な例を挙げ、人が誰でも当たり前持っている権利が人権であること、いじめがそれを侵害するものであることを、実感を伴って理解する。
- 3 「場合によってはいじめられる側にも原因がある」という考え方に対し、そのような正当化は許されず、いじめがいかなる場合でも絶対に許容されないことを理解する。また、他者の違いを個性の尊重という観点で捉え、いじめによらない相互理解による問題解決の方法を考える。

<第2時>

- 1 いじめが被害者・加害者双方に与える傷について事例を紹介し、いじめの恐ろしさを具体的な実感として捉える。
- 2 いじめを無くすために何ができるかについて、いじめの4層構造を取り入れながら説明し、さらに話し合いを通じて考えを深める。
- 3 いじめの防止・阻止にとって重要となる「ことば」の持つ力について理解し、実際にいじめが起きたときにどのような行動をとるべきかを考える。

4 子どもの姿 <授業後の感想（ワークシートより抜粋）>

- ・人には必ず長所、短所がある。いじめは人の命をうばってしまう事もあると知り、よりいじめは絶対にいけないという気持ちが強くなりました。いじめを見たら注意する、相談をしていきたいです。一人でも助けられたらうれしいのでいじめに対して「やらない」という事、いじめを見たら「注意する」と言う事をがんばってしていきたいです。
- ・今日話を聞いていじめは絶対にしてはいけないということが分かった。もしいじめられている人がいたら温かい言葉をかけてあげたいと思った。

<実施校のHPより>

いじめ防止授業—弁護士さんによる授業— 2021-09-11 07:37

9月9日（木）3・4校時に、弁護士さんにきていただき、5年生が人権に関する授業を行いました。提示された問題例をもとにみんなで考え合ったり、「弁護士の“弁”はことばという意味であり、みなさんの口から発せられる言葉にはすごい力がある」など、教えていただいたりしました。最後の感想に「いじめは絶対にしてはいけない」と記したように、2時間、真剣に人権について考える時間となりました。



<個人的な感想>

私が、この授業で児童に一番考えて貰いたいと思っている部分は、クラスでいじめが発生した場合、多くのこどもは傍観者の立場になることが多いと思いますが、その立場になった際にどうやっていじめられている人を助けるかという点です（第2時の「2」の点）。この点について、グループワークを行い、各班から発表する形式になっていますが、挙がってくる意見は、①いじめをしている人に直接やめるように言う、②先生や親に相談するというものが多いです。しかし、偶に③いじめられている人に声を掛ける・励ますという意見が出ることがあります。③の意見が出たときに、児童から「あ、そっか～」と呟きが聞こえてくることがあります。友達の意見から③の方法を得た児童は、きっといじめ問題が発生しても、いじめに立ち向かうことができるのだらうと感じます。

また、過去にいじめ問題が発生したクラスやいじめ問題とまではいかなくともその前段階のトラブルがあるクラスにおいて、本いじめ予防授業を実施することがあります。その際に、いじめをしていたり、心当たりがあったりする児童がしばつの悪い様子で授業を受けていることがあります。本授業がそのような児童に何かしら響いているものと感じています。

マンパワーが必要で、弁護士会において授業担当者を確保することが大変という側面がありますが、やりがいがある活動だと思っていますので、可能な限り、多くの小学校を対象に実施していきたいと考えています。

5 その他

これまでの実施回数について

年度	学校数	クラス	年度	学校数	クラス
H27	7	25	H30	23	44
H28	10	25	R1	21	52
H29	19	34	R2	8	18